

平成31年5月期・第3四半期連結決算の概要

I. 平成31年5月期・第3四半期連結累計期間の概況について

医薬品業界におきましては、2017年6月閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2017」では「2020年9月までに、後発医薬品の使用割合を80%とし、できる限り早期に達成できるよう、更なる使用促進策を検討する」と明記され、ジェネリック医薬品の使用に対する国の政策面での後押しが期待されております。しかしながら薬価引き下げなどによる薬剤費抑制の方針も示されており、2017年12月には、2年に1度の薬価改定を2021年度から毎年実施することや、後発薬が普及している先発薬の価格を大幅に引き下げることを柱とした薬価制度改革の骨子が中医協で了承されるなど、医薬品業界の事業環境は厳しいものとなることが予想され、当社としても一層の経営効率化への努力が求められております。

原薬では、一部仕入商品の販売減少があったものの、血圧降下剤原薬及び消炎鎮痛剤原薬等のジェネリック医薬品向け原薬の販売が増加し堅調に推移し、売上高は16,485百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

製剤では、自社開発ジェネリック医薬品は堅調に推移したものの、一般用医薬品の販売及び医療用医薬品における新薬や長期収載品の製造受託の販売が減少となり厳しい状況で推移し、売上高は13,699百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

健康食品他につきましては、市場における競争激化等により、厳しい状況で推移し、売上高は217百万円（前年同期比8.6%減）となりました。

II. 連結損益の状況（累計）

① 損益実績

(百万円)

	平成30年5月期・第3Q		平成31年5月期・第3Q		対前期比較		平成31年5月期 計画		進捗率
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%	金額	%	
売上高	29,636	100.0%	30,401	100.0%	+765	+2.6%	40,800	100.0%	74.5%
売上原価	23,460	79.2%	23,745	78.1%	+285	+1.2%			
売上総利益	6,176	20.8%	6,656	21.9%	+480	+7.8%			
販管費	2,991	10.1%	2,990	9.8%	△1	△0.0%			
営業利益	3,185	10.7%	3,665	12.1%	+480	+15.1%	4,300	10.5%	85.2%
営業外収益	95	0.3%	111	0.4%	+16	+16.8%			
営業外費用	34	0.1%	24	0.1%	△10	△29.4%			
経常利益	3,245	10.9%	3,753	12.3%	+508	+15.6%	4,350	10.7%	86.3%
特別利益	20	0.1%	194	0.6%	+174	+870.0%			
特別損失	0	0.0%	184	0.6%	+184	-			
税引前利益	3,265	11.0%	3,763	12.4%	+498	+15.3%			
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,300	7.8%	2,550	8.4%	+250	+10.9%	3,100	7.6%	82.3%

* 連結子会社数 3社 (大和薬品工業(株)、Daito Pharmaceuticals America, Inc.、大桐製薬(中国)有限責任公司)

* 返品調整引当金繰入額及び戻入額は、売上原価に含めております。

② 品目別売上高

(百万円)

	平成30年5月期・第3Q		平成31年5月期・第3Q		対前期比較	
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%
原薬	15,684	52.9%	16,485	54.2%	+801	+5.1%
製剤	13,715	46.3%	13,699	45.1%	△16	△0.1%
健康食品他	237	0.8%	217	0.7%	△20	△8.6%
合計	29,636	100.0%	30,401	100.0%	+765	+2.6%

III. 設備投資の状況（累計）

(百万円)

	平成30年5月期・第3Q	平成31年5月期・第3Q	対前期比
	金額	金額	増減額
有形固定資産の投資額（発生ベース）	2,181	2,615	+434
無形固定資産の投資額（ " ）	8	17	+9
合計	2,189	2,632	+443

決算発表・補足説明資料 (2/2)

平成31年4月12日
 ダイト株式会社
 (証券コード4577)

主な設備投資の内訳

(百万円)

設備内容	金額	備考
・ 高薬理R&Dセンター内に試験設備を増設	352	ダイト 高薬理試験設備の増強
・ 包装製造設備等	274	ダイト 製剤包装ラインの品目多様化改造
・ 高薬理製剤製造設備	1,232	ダイト 高薬理製剤棟の新設

IV. 減価償却費の状況 (累計)

(百万円)

	平成30年5月期・第3Q	平成31年5月期・第3Q	対前期比
	金額	金額	増減額
有形固定資産	2,075	2,004	△71
無形固定資産等	35	42	+7
合計	2,110	2,047	△63

V. 研究開発費の状況 (累計)

(百万円)

	平成30年5月期・第3Q	平成31年5月期・第3Q	対前期比
	金額	金額	増減額
研究開発費	1,212	1,205	△7

平成31年5月期・通期連結決算の予想

平成31年5月期の通期連結業績予想につきましては、平成30年7月13日に公表いたしました予想数値を修正しておりません。

I. 連結損益の予想

(百万円)

	平成30年5月期 通期		平成31年5月期 通期予想		対前期比較	
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%
売上高	39,875	100.0%	40,800	100.0%	+925	+2.3%
営業利益	4,161	10.4%	4,300	10.5%	+139	+3.3%
経常利益	4,244	10.6%	4,350	10.7%	+106	+2.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,041	7.6%	3,100	7.6%	+59	+1.9%

II. 品目別売上高

(百万円)

	平成30年5月期 通期		平成31年5月期 通期予想		対前期比較	
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%
原薬	20,848	52.3%	21,400	52.5%	+552	+2.6%
製剤	18,705	46.9%	19,100	46.8%	+395	+2.1%
健康食品他	320	0.8%	300	0.7%	△20	△6.3%
合計	39,875	100.0%	40,800	100.0%	+925	+2.3%

III. 設備投資の状況

(百万円)

	平成30年5月期	平成31年5月期 予想	対前期比
	金額	金額	増減額
有形固定資産の投資額 (発生ベース)	3,603	4,000	+397
無形固定資産の投資額 (")	51	50	△1
合計	3,655	4,050	+395

主な設備投資の内訳

(百万円)

設備内容	金額	備考
・ 高薬理R&Dセンター内に試験設備を増設	400	ダイト 高薬理試験設備の増強
・ 包装製造設備等	900	ダイト 製剤包装ラインの品目多様化改造
・ 第八製剤棟の建設	1,400	ダイト 高薬理製剤棟の新設 (総投資額 3,500百万円)

IV. 減価償却費の状況

(百万円)

	平成30年5月期	平成31年5月期 予想	対前期比
	金額	金額	増減額
有形固定資産	2,803	2,913	+110
無形固定資産等	49	47	△2
合計	2,853	2,960	+107

以上

